



# あぎ一君の つれづれダムだより



冬の到来です！ 雪んこが飛び始めると「冬が来たな～」と感ずります。（雪んこ～ちっさい虫ですが、お腹に白い綿毛を付けてふわふわと飛んでいます。正式名は分かりませんが子供の頃から“雪んこ”と呼んでいました……他の地域ではどう呼ばれているのでしょうか？）11月24日、25日あたりに冷え込み、何気なく恵那山の方を見てみたら雪が降っていて恵那山と連なる山々が白くなっていました！ ダム周辺からですと、山がちょうど遮ってしまい、恵那山を望むことは出来ませんが恵那市街(19号線辺り)からだと、とてもよく見えます。（ちょうど、下記の写真のように白くなっていました）

（12/9～朝方、恵那・中津川市街の方にも、みぞれまじりの初雪が降りました！）

## 恵那山について



（冠雪した恵那山）

恵那山の標高は、2191mで長野県下伊那郡阿智村と岐阜県中津川市にまたがり、木曾山脈(中央アルプスの最南端に位置する美濃の最高峰です。古くは胞山・胞衣山とも書かれ、『山に天照大神が生まれた時の胞衣(えな)を納めた』という伝説が残っており、この山の名前の由来ともなっている……と伝えられています。また角度により船を伏せたように見えることから覆伏山(ふなふせやま)などとも呼ばれたそうです。

※ 胞衣(えな)とは……胎児を包む膜や胎盤の総称

※ 恵那山について少しだけ紹介しましたが、まだまだ紹介しきれません。今回、たよりに載せるにあたりインターネットで調べてみましたが歴史が古い山なんだな～と実感しました。

ダム湖の

## 噴水は何のため？



表層曝気設備

お客さまからのご質問で良く聞かれる事がいくつかありますが、その中の1つが、ダム湖をご覧になり『噴水は何の為にあげているの？』というご質問です。

ダム湖の噴水は、水質を保つ為のもので噴水を上げることでアオコ～プランクトンの発生を抑制する動きがあるのですが、先日も同様のご質問がありご説明したところ『むだに上げて……と、思ったけど、ちゃんと理由があったんだね。聞かないとわからない、聞いてよかったわ』と感想を言われ帰ってかれたお客さまもみえました。

左上と右下の噴水の写真を見ていただくと、高く上に上がっている時と横に広がって上がっているのが分りますが、交互に上がっているのを見られたお客さまが、①『何分くらいの間隔でかわっているの？』、②『噴水の機械から岸の方まで箱みたいな物がつながっているけどあれは何？』と普段、私達が見慣れている光景で当たり前と捉えている事を違った目線で捉えられ、お客さまから質問される事があり、こういう視点もあるんだな……と気付かされる事があります。

※ ちなみに……①～計ってみたところ、大体2分間隔でかわっています。

②～噴水を動かす為のケーブルです。

表層曝気設備



換算降雨量 100mm/h  
直径 50mの噴水